



2024年5月17日

各 位

会 社 名 株式会社サンテック  
代表者名 代表取締役社長 八幡 信孝  
(コード番号 1960 スタンダード市場)  
問合せ先 執行役員管理部長 船戸 文英  
(TEL. 03 - 3265 - 6181 )

## 減損損失、貸倒引当金繰入額、 持分法による投資損失、関係会社株式評価損の計上及び 2024年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年3月期決算において、減損損失、貸倒引当金繰入額、持分法による投資損失、関係会社株式評価損を計上いたしました。その概要をお知らせするとともに、2024年2月26日に公表しました2024年3月期通期業績予想を修正しますので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 減損損失の計上

当社は、コストに見合わない事業所二か所を閉鎖したこと及び保有する一部の固定資産について減損の兆候が認められたこと等から、当該固定資産に係る回収可能性を検討した結果、個別決算において減損損失として、2億76百万円を特別損失に計上いたしました。

また、シンガポールのSEC(S)PTE.LTD.において減損損失として48百万円を計上したことにより、連結決算においては、減損損失として、3億25百万円を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 貸倒引当金繰入額の計上

当社は、一部の工事において代金回収が長期化する懸念が発生し、また、連結子会社であるベトナムのSANYO ENGINEERING & CONSTRUCTION VIETNAM CO.,LTD.への滞留債権が発生したこと等から個別決算において、貸倒引当金繰入額として、4億81百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。

連結決算においては、貸倒引当金繰入額として、4億45百万円を販売費及び一般管理費に計上いたしました。これは、滞留債権に対しマレーシアのSECM SDN. BHD.が69百万円、シンガポールのSEC(S)PTE.LTD.が12百万円の貸倒引当金繰入額を販売費及び一般管理費に計上したためであります。

なお、ベトナム子会社への貸倒引当金繰入額は1億17百万円であり、連結決算においては消去されております。

#### 3. 持分法による投資損失の計上

当社は、持分法適用会社であるベトナムのSEAPRODEX REFRIGERATION INDUSTRY CORPORATIONにおいて、資材調達価格の増加による売上総利益の低下と滞留債権への貸倒引当金繰入額の計

上等により当期純損失を計上したことに伴い、連結決算において、持分法による投資損失2億59百万円を営業外費用に計上いたしました。

#### 4. 関係会社株式評価損の計上

当社は、保有する関係会社株式のうち、連結子会社であるベトナムの SANYO ENGINEERING & CONSTRUCTION VIETNAM CO., LTD. 及びタイの SECT COMPANY LIMITED の株式について、実質価額が著しく低下したため、個別決算上、減損処理を実施し関係会社株式評価損として、2億30百万円(ベトナム子会社1億94百万円、タイ子会社35百万円)を特別損失に計上いたしました。

なお、上記の関係会社株式評価損は、連結決算においては消去されております。

#### 5. 業績予想の修正

2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	50,000	△800	△100	260	16.38
今回修正予想(B)	50,936	△1,131	△654	△708	△44.66
増減額(B-A)	936	△331	△554	△968	
増減率(%)	1.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	38,745	△831	△324	436	26.78

2024年3月期通期個別業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,000	△1,300	△600	60	3.78
今回修正予想(B)	27,907	△1,643	△1,025	△919	△57.93
増減額(B-A)	△92	△343	△425	△979	
増減率(%)	△0.3	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	22,441	△1,017	△359	△118	△7.28

(注) 上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報を前提としております。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

#### 6. 修正の理由

##### (1) 連結業績予想の修正理由

売上高につきましては、前回発表予想から若干増加する見込みです。

利益面では、個別業績予想の修正理由を主因に前回発表予想から営業損失が増加し、項番3.の持分法による投資損失2億59百万円の計上により、経常損失、親会社株主に帰属する当期純損失が増加する見込みです。

##### (2) 個別業績予想の修正理由

売上高につきましては、前回発表予想から若干減少する見込みです。

利益面では、項番 2. の貸倒引当金繰入額 4 億 81 百万円の計上により前回発表予想から営業損失が増加する見込みです。また、受取地代家賃が 5 億 24 百万円の計上となり堅調に推移し、受取配当金の増加や為替差益 1 億 44 百万円を計上したものの、前回発表予想から経常損失が増加し、項番 1. の減損損失 2 億 76 百万円、項番 4. の関係会社株式評価損 2 億 30 百万円の計上により当期純損失が増加する見込みです。

以 上